

審議会（第4回）における委員意見への対応について

項目	項番	意見	対応方針（案）
大宮駅周辺・さいたま新都心周辺地区について	1	「新庁舎整備予定地の周辺では、様々なまちづくりの取組が期待されます。」とあるが、この表現だと民間の取組への期待であり、市の取組とは読みづらい。民間の取組を指すのであれば、最後の段落で記載する方がよいのではないか。	御指摘を踏まえて、市の取組を想定していることが分かるように変更します。 [変更前] また、新庁舎整備予定地の周辺では、様々なまちづくりの取組が期待されます。 ↓ [変更後] <u>新庁舎の移転整備に合わせて、周辺のまちづくりに取り組む必要があります。</u>
東西連携軸について	2	新たな東西連携軸の役割として、ネットワークの代替性・多重性があるが、定時性・速達性だけでなく、防災の観点でも非常に大切である。防災の機能強化や災害時の早期復旧に寄与するなど、多機能であるということを示してはどうか。	御指摘を踏まえて、新たな東西連携軸の記述を変更します。 [変更前] 東西連携軸は、広域的には、東京都心部から環状方向に位置する拠点的な都市との連携を促進する機能を有し、南北都市軸との相乗効果によって、東京都心部からの機能分散の受け皿として都市機能の集積と機能の高度化を誘導する役割を担うことで、市内の各拠点と東日本や首都圏の各都市との連携を強化していきます。 市内においては、拠点間の連携と定時性・速達性の確保を図りつつ、市域の東西に広がる市街地を結び、市民の交流・連携の促進と市内各地の生活利便性の向上を図る役割を担います。 2つの東西連携軸の間に、新たな東西連携軸を形成することで、ネットワークの代替性や多重性の確保を図っていきます。 ↓ [変更後] 東西連携軸は、広域的には、東京都心部から環状方向に位置する拠点的な都市との連携を促進する機能を有し、南北都市軸との相乗効果によって、東京都心部からの機能分散の受け皿として都市機能の集積と機能の高度化を誘導する役割を担います。 市内においては、拠点間の連携と定時性・速達性の確保を図りつつ、市域の東西に広がる市街地を結び、市民の交流・連携の促進と市内各地の生活利便性の向上を図る役割を担います。 2つの東西連携軸の間に、 <u>新たな東西連携軸を形成し、ネットワークの代替性や多重性の確保を図ることで、災害時における機能・安全性を強化するとともに、市内の各拠点と東日本や首都圏の各都市との連携を強化していきます。</u>
	3	圏央道・外環道は、東京都心への通過交通を防ぐことを主な機能とする路線であり、都市部を避けて通っているのに対し、核都市広域幹線道路は、それに加えて、首都圏の重要な都市を直接結ぶという機能があり、違う役割を持つ点を強調したい。	
都市インフラに関する政策・施策について	4	（4）2 街なかの回遊性・滞在の快適性の箇所は、大切なことが書かれているが、「グリーンインフラ」という言葉の扱いが難しい。緑化して交流の場を創出することがグリーンインフラの取組と読めてしまう。「公民連携により緑化を含む環境改善を推進し、それがひいてはにぎわいの場を創出する」という表現としてはどうか。	御指摘を踏まえて、グリーンインフラの取組に関する表現を変更します。 [変更前] （4）にぎわいと交流を生む居心地のよい都市空間の形成 2 街なかの回遊性・滞在の快適性、地域イメージの向上のため、公民連携で都市部における緑化を推進し、まちの賑わいの起点となる交流の場を創出するなど、グリーンインフラの取組を推進します。 ↓ [変更後] （4）にぎわいと交流を生む居心地のよい都市空間の形成 2 街なかの回遊性・滞在の快適性、地域イメージの向上のため、公民連携等により都市部における緑化を推進し、まちの賑わいの起点となる交流の場や市民の憩いの場を創出するとともに、 <u>緑を生かした災害リスクの軽減を図るなど、グリーンインフラの取組を推進します。</u>
	5	緑を増やすことや ICT を活用した交通施策の記載だけではなく、脱炭素、GX※1、DX※2の観点や、最新技術の導入による省エネルギーのまちづくり、レジリエンスの高いまちづくりといった総合的な視点があるのではないか。	